

富士山西麓の自然と歴史を満喫

あさぎり高原サイクリングマップ「道の駅」朝霧高原 発着

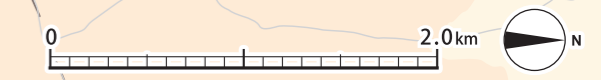
距離 36.9km

時間 2時間27分(参考)

最大標高差 466m

平均斜度 上り4.0% 下り3.5%

駿河湾からの温かい風が高原で冷やされ、夏の朝夕に霧の発生が多いので朝霧高原という名前がついたと言われています。酪農がさかんな地で、牧草地の緑、牛、富士山の風景はたいへん魅力的です。源頼朝のゆかりの地でもあります。



田貫湖

1周約3.3kmの湖で、昔は農業用水として利用するためにせき止めて造った湖です。4月20日頃と8月20日頃はダイヤモンド富士が見れるスポットとして有名です。

源頼朝の巻狩

頼朝は、鎌倉幕府を開いた頼朝は1193年に富士山麓で1ヶ月間大規模な狩猟会を開きました。武術の訓練にもなるいわば軍事演習のようなものです。

狩宿の下馬桜(駒止の櫻)

巻狩参加者の宿営所だったのが井出家とその周辺。国内最古の樹齢800年のヤマザクラがあり、頼朝がここで馬から降りたので「下馬桜」と呼ばれている。4月は桜と菜の花と富士山で美しい景色が楽しめます。

白糸の滝

高さ20m、幅120mの絶壁から富士の湧水が大小数百の滝となり流れ落ち、世界文化遺産の構成資産の1つにもなっています。富士講の開祖長谷川角行が水行を行ったと言われ、富士講新車の巡礼・修行の場でありました。

人穴富士講遺跡

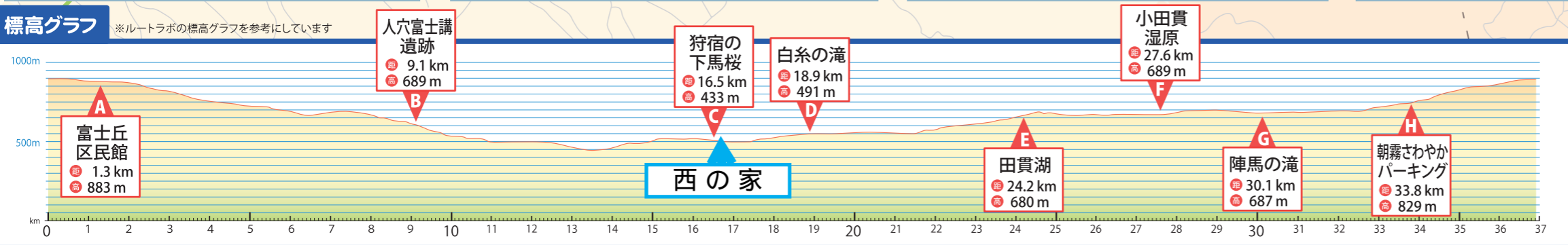
富士講の開祖長谷川角行が1558年に1000日の修行をして、富士信仰の修行の場となった聖地でもあります。富士講関係者の記念碑、供養碑など約230基の碑塔群があります。富士山世界文化遺産の構成資産の1つです。

陣馬の滝

源頼朝が巻狩の際、この滝の近くで一夜の陣を張ったことで、陣馬の滝と呼ばれています。毎年8月下旬には陣馬まつりが開催されます。

小田貫湿原

標高700mの湿地で大小125の池があり、春から秋にかけて希少な植物がみられます。



凡例

- 国道 (Red line with 000)
- 県道 (Green line with 000)
- 道路 (Grey line)
- 主要交差点 (Blue circle with 0000)
- サイクリングコース (Blue dotted line)
- 標高ポイント (Red circle with A)
- 世界文化遺産構成資産 (Yellow star)
- 道の駅 (Blue house icon)
- 駐車場 (P icon)
- 眺望ポイント (H icon)
- コンビニエンスストア (24 icon)
- ガソリンスタンド (GS icon)
- トイレ (WG icon)